

FOCUS

追いかける。大学生。

大阪薬科大・1年
田淵三香子さん

女王卑弥呼コンテスト

奈良県郡山市を明るく元気にPRする女性を決める、第31回女王卑弥呼コンテスト。未婚、既婚を問わず毎年女王1人、準女王2人が選ばれる。今回は第31代女王卑弥呼に選ばれた田淵三香子さん(大薬大・1年)をFOCUSした。

第31代卑弥呼、誕生

郡山市の魅力、女王が伝えます



女王卑弥呼に選ばれた時のことを「まさか自分が選ばれるとは思っていなかったのだからびっくりした」と田淵さんは話す。このコンテストに応募したのも母親の勧めと豪華な参加商品がもらえるという理由で、女王を狙おうという気はなかったという。自分が奈良市民であるということもあり、女王は無理だと思っていた。

第31回女王卑弥呼コンテストは10月14日、やまと郡山城ホール(奈良県)で開催された。1次審査の1分間自己PRではスピーチと中学の頃から続けているというフルートを披露。2次審査では、審査員を務める協賛会社との面接で郡山市の魅力を伝えた。1次審査のスピーチでは練習していた内容と全く違うことを言ってしまうというハプニングもあったが、見事に女王卑弥呼の座を手に入れた。

10月21日には女王卑弥呼の初仕事として「矢田ふる里まつり」に参加。運動会の競技に出演したりアナウンスをしたりと、この日は休む暇もなかった。その中で、女王卑弥呼としての仕事は「人前で自分を表現することが好きだ」という、自分の良さを生かせる仕事かもしれないと改めて感じたそう。

田淵さんの持つ卑弥呼のイメージは「芯がしっかりしていて強そうなイメージだが、その中にも平和が広がっているような素敵な女性」。昔から歴史が好きで邪馬台国に関することにはとくに興味があるという。郡山市に邪馬台国があったのではないかとという説を聞いて、それをもっと多くの人にアピールするということが目標の1つになった。

(聞き手) 三木茉莉奈

普段は薬剤師を目指す大学生。現在、木管アンサンブルサークル、旅行写真部、アルペンスポーツクラブの3つの部・サークルに所属している。本当はもっと入りたいサークルがたくさんあったが3つに絞ったという。大阪薬科大に入学する前に目指していたのは宝塚歌劇団で演技をすること。惜しくも2次試験で落ちてしまったが、すぐに気持ちを切り替えて大薬大の入学を志した。そんな田淵さんの座右の銘は「人生に無駄はない」。「今していることは全て無駄ではないという気持ちで大切にしたい」と力強く話す。時間があればもっとたくさんのごことに挑戦したいという。



第31回矢田ふるさと祭りに女王卑弥呼として参加する田淵さん(写真中央)

FOCUSは

神戸大学ニュースネット委員会
同志社大学 PRESS 編集部
NEWS 立命通信社
関学新月通信社
大阪大学 POST 編集部

関西大学タイムス編集部
神戸女学院大学 K.C.Press 編集部
京都女子大学藤花通信編集部
京都大学 EXPRESS 編集部

の共同編集による週刊フリーペーパーです

UNN関西学生報道連盟

配信・発行 (C) UNN 関西学生報道連盟 (公式HP) <http://www.unn-news.com/>

共同編集室 〒532-0011 大阪市淀川区西中島 4-2-24 ダイニホンビル 4F

(TEL) 06-6307-1315 (FAX) 06-6829-6353 (MAIL) info@unn-news.com